

県政トピックス

●静岡県議会6月定例会

6月定例会は6月19日から7月8日の20日間開催され、知事提出22議案は全て可決成立しました。

●遠州大橋無料化へ

県道路公社が所管する国道150号線「遠州大橋」は本年9月28日から無料化されます。利用者のみなさまは交通量の増加などにご注意願います。

6月補正予算の主な内容

●子どもの安全対策(2億5000万円)

5月に滋賀県と神奈川県で痛ましい事件・事故が発生しました。県はふじのくに県民クラブ等からの要望に応え、緊急対策を予算化しました。

交通規制等のソフト対策と、ポストコーンの設置や路肩のカラー舗装などの安全施設、歩道の整備等のハード対策を組み合わせて交通安全対策を図るとともに可搬式防犯カメラの設置を進めています。

大丈夫? 将来を担うICT人材の育成 (文教警察委員会の所管事務調査から)

これからの社会はICTやAIの進展により大きく変わります。その時に適応できる能力を育てていく狙いで学習指導要領が改定され、プログラミング教育が導入されます。小学校では2020年度、中学校は2021年度から全面実施、高校は2022年度から徐々に実施されます。

●ICT機器の整備状況

国は「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画」を策定し2022年度を目標に取り組んでいます。教育用コンピューターの整備目標は「1台あたりの児童生徒数3人(3クラスに1クラスは授業ができる水準)」となっていますが、本県は5.9人と全国平均の5.6人よりも遅れています。小中学校で国の目標を達成するには約45000台のPC購入が必要です。

会派の話題

●Good Question Award (グッドクエスチョン大賞)

私たち議員は議会でさまざまな質問を行います。こうした質問づくりも楽しんで切磋琢磨していくこと、お互いの質問の中から「これはいい質問だ!」というものを選ぶ「グッドクエスチョン大賞」を実施しました。6月定例会では4人の議員が本会議で質問を行い、初めての大賞は阿部卓也議員が代表質問で行った「高齢者の免許返納制度のワンストップ化」を選びました。

●副知事2人体制に

静岡県は副知事3人制をとっていましたが、7月末をもって土屋副知事が退任し、吉林、難波両副知事の2人体制になりました。土屋前副知事は東部伊豆担当として、特に来年に迫ったオリンピック・パラリンピック自転車競技の開催に手腕を発揮されました。今後、知事の政策補佐官(非常勤)として、引き続き準備を進めていただきます。

●豚コレラ対策(1億5800万円)

豚コレラは人間には感染せず、罹患した豚肉を食べても人体への影響はありません。しかし養豚農家にとっては深刻な問題です。

県はふじのくに県民クラブ等からの要望を受け、車両消毒ポイントの設置や野生イノシシ侵入防止柵の設置費助成などの発生予防策に加え、万が一、県内で発生した場合、影響を受けた養豚農家を財政支援するなど対策を進めます。

●ICT教育指導者の確保

「学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果」に教員のICT活用指導力という指標が4つありますが、静岡県は47都道府県でいずれも低位となっています。教職員の多忙化の中、民間事業者の力を借りて、外部人材の活用を真剣に検討すべきです。

教育行政はマネジメントの強化が求められます。

創ろう!元気な浜松&静岡県

田口 章 は持ち前のフットワークで、元気いっぱい活動しています。日常の活動は、ホームページやブログでも報告しています。インターネットがご利用できる方はぜひご覧ください。

田口章

で

検索

